



Hello, AI！新しい学びのカタチ

班員 西田菜桜 甲斐莉桜渚 指導者 森田康平 先生 永吉彩芽 先生
甲斐みのり 小野杏実 木村美由 コーチ 小野雅史 様

研究の動機

自分のスマホを持っている人が多い中、AIを学習のために使用している人は少ない。そこで、私たちが利用しているAIの違いや、どの分野に特化しているのかが気になったから。

研究の目的

AI化が進む現代で、自分だけでの勉強の幅を広げて、自宅での時間を有効に使う。
どのAIが1番日本語のニュアンスに近い英文を作れるのか知って、英語の学習に活用する。

先行研究

2024年、AIが95%執筆した小説『影の雨』が発表された。また近年、教育現場でも生成AIを活用している学校が増えている。

仮説

- ChatGPTが一番正確である
- 翻訳した文章は文法的には正しくても、ニュアンスの捉え方は人間に劣る
- AIは長文の翻訳や英作文の添削に利用できる

研究方法

- ①延高の1,2年生にGmailで、英語とAIに関するアンケートを行う
- ②アンケートの結果から利用者の多いAIサイトを3つ選び、日本語の文章を英語に翻訳する
- ③その英語の文章の文法や表現をALTのMr.Huに5段階で評価してもらう
- ④それぞれのAIの訳の違いや、文法の正確性、原文への忠実さを調べる

必要な道具

- パソコン、タブレット
- 生成AI (ChatGPT、Gemini、Copilot)
- 検証に使う文 (日本語)

結果1

延高の1,2年生100名を対象にアンケートを行ったところ、英語の学習にAIを使ったことがあると答えた人は78%だった。
最も多く使われていたのがChatGPT、次いでGemini、Copilotであった。

結果2

Mr.Huからの評価の結果 (評価段階 1～5)

AI	観点	竹取物語	羅生門	会話文
Gemini	原文に近い表現か	4	5	4
	自然な表現か	2	4	4
	正確な表現か	4	5	5
ChatGPT	原文に近い表現か	5	5	2
	自然な表現か	4	1	5
	正確な表現か	4	5	3
Copilot	原文に近い表現か	5	5	5
	自然な表現か	5	3	5
	正確な表現か	4	5	4

全ての観点で最も評価が良かったのは、Copilotだった。また、3つの生成AIの比較から、それぞれ英訳をする際の表現の方法や正確さに違いがあることがわかった。特に会話文で違いが見られた。

考察

結果から考えた3つの生成AIの特徴

	特徴
Gemini	説明が多く、読みやすさを重視 文法表現が苦手 ⇒物語が得意である
ChatGPT	語彙の選び方や文法構造が優れている 長文中にAIの特徴が多い ⇒短文の訳に向いている
Copilot	人の訳し方に近い ⇒どの文章でも訳し方が自然

生成AIは、文章の種類によって向き・不向きがある。そのため、使用目的に応じて、使い分けることが重要だと考えられ、目的を明確にしたうえで生成AIを活用する必要がある。
今後、英語学習の際に、物語文にはGemini、英単語や文法問題にはChatGPT、説明文・会話文にはCopilotを用いることで、自宅での英語学習の質が上がると言える。

参考文献

呉浩東(獨協大学) 2024年 (2025/05/16)
『英語学習における生成AIの活用に関する研究』
<https://share.google/tg4C7w9ZaMmYw1gMg>
吉田信介(関西大学) 2024年 (2025/05/16)
『生成 AI による英語教育の可能性』
https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/activity/pdf/kiyo_no.15_pdf/15_13.pdf
芥川龍之介 1915年『羅生門』新潮社 (2025/10/30)
作者未詳『竹取物語』新潮社 (2025/10/03)